



ブラックスワン食糧保障メールマガジン 2022年6月21日配信号

「関連番組増える中、国連、驚愕の発表」

だんだん暑くなってきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか？
我々の肉業界も値上げラッシュで熱くなってきました。
今週・来週は、お客様である大手の外食企業様に値上げをお願いする
全国行脚が始まります。

と言いましても、我々がメインで扱うヨーロッパ産の豚肉は価格の
優等生で、円安になった為替分約10～15%位で済んでおります。
これはかなりましな方で、お客様も優しく「しかたないよね～」
と値上げさせて頂ける感じです。

意外だったのは一番安かった鶏肉が、いきなり約2倍になたことです。
コロナ禍でずいぶん唐揚げの持ち帰り店が増えましたが、みなさん
大変そうです。
恐らく我々がブラジルから買い付ける価格よりも、まだ業務スーパー
さんの方が安いので、今のうちに走られた方が良いかもしれません(笑)

因みに丸亀製麺さんの‘タル鶏天ぶっかけ’の鶏肉は弊社の物なので、是非
お召し上がりください。
あと丸源ラーメンさんの人気メニュー、‘肉そば’も関西は弊社の物なので、
宜しくお願い致します。(また笑)

YouTubeでも食糧危機を扱う番組がさらに増えてきています。
本日は及川幸久さんの番組をご紹介します。
彼は政治のテーマを中心とした非常にためになる番組の専門家で、政治系
ユーチューバーとしては、日本でも1, 2を争う再生回数を誇っています
因みに氏は、今回の参議院選に幸福実現党から立候補されるとの事です。
宗教団体から出るのはどうかとも思いますが、意外に幸福実現党の公約は
まともなものが多いです。

(リンク)
ちょっと横道にそれますが、私は個人的には今回、参政党に注目しています。
この党もメインの政策は「食の安全と教育」です。
本当の意味で国を憂う政党がたくさん出てきていることは明るい兆しですね。

話を及川さんの番組に戻しますが、ロシアやウクライナが小麦の大生産地で、
世界の30%もシェアがある事や、その他トウモロコシやヒマワリの主要な
生産地であることは、皆さん既にご存知かと思います。

意外な所では、ロシアの蕎麦の生産量が世界1, 2位を争う国である事です。確かに日本にはかなり深刻な問題ですが、これもご存知の方は、結構いらっしゃるのではないのでしょうか。

一番私が深刻だと思う点は、ロシアが肥料も主要輸出国であるという事です。既にカリウムは値段が2~3倍になっており、日本の農家も、今年の作付けをあきらめるところが出てきているとの事です。つまり、ロシアやウクライナ情勢の悪化で穀物が上がるから、「日本でも頑張って作ろう！」という事ができないという事です。しかもこれは穀物だけではなく、野菜などすべての農産物に影響する大変深刻な現象で、後でボディーブローのように効いてきます。

更にもう一点の話は、国連が非常に悲観的なシナリオを発表したことです。国連事務総長は以下の様にコメントしました。「黒海沿岸の人々8億人はまさにロシア・ウクライナの穀物に依存していました。しかもその次には、中東やアフリカの人々が続きます。今後世界で16億人の人々が食糧難で困窮し、うち2億5千万人が餓死するでしょう。動物用の飼料を人々に回すことは可能だが、それでも根本的な解決にはならない」

やはりお肉が真っ先に無くなりそうですね...

ブラックスワン食糧保障 草間 弘人

正しく表示されない場合は[こちら](#)

今後も引き続きメールの受信を希望される方は [こちらをクリック](#) してください。今後メールの受信をご希望されない方は、こちらから[配信停止手続きが行えます](#)。

